



未経験から税理士事務所に 転職する方法は○○！

＼うまくいくポイントとは？／

はじめに



「そもそも未経験OKの求人はあるの？」
「どういう求人を選べば良い？」
「書類選考や面接はどうすれば通過できる？」

実務未経験から税理士事務所への転職を目指す時、このような疑問を抱く方も多いのではないのでしょうか。

まったくの未経験であったとしても、事前に綿密に対策を練ることで、税理士業界への転職を果たしている人はたくさんいます。

そこで今回は、未経験から税理士事務所へ転職する方法について
様々な観点からわかりやすく解説していきます。

目次



- 税理士事務所の転職事情 ...4
- 未経験から税理士事務所に転職するためのポイント ... 6
- 求人の見分け方 ... 8
- 書類選考を通過するためには ...12
- 面接を通過するためには ...16
- ミツカルにできること ...19

税理士事務所の転職事情

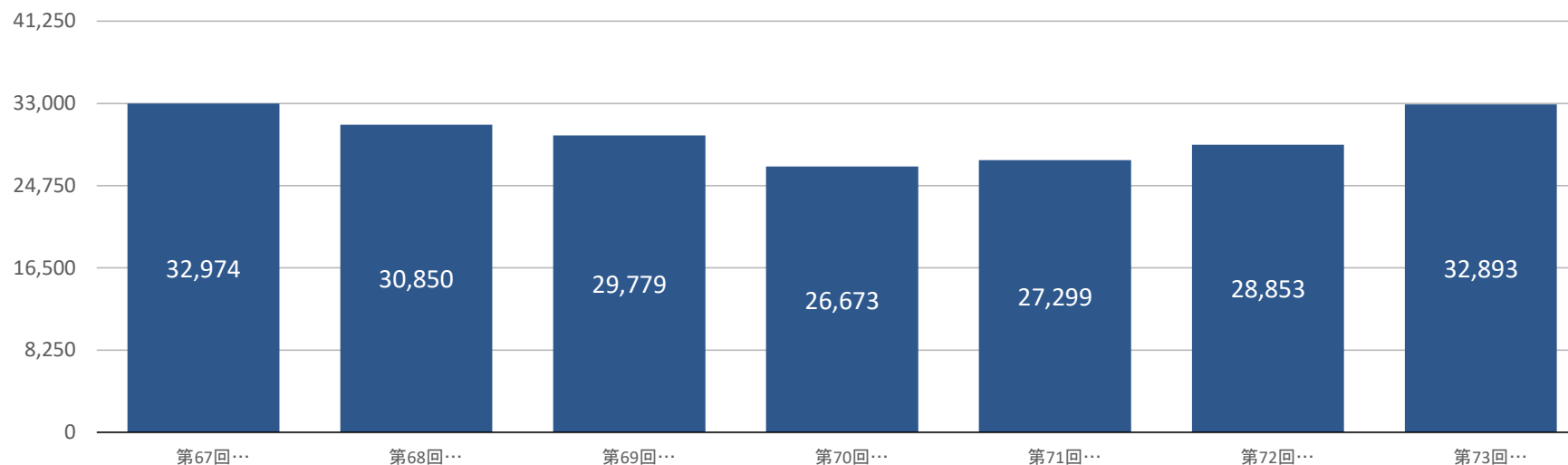
日本税理士会連合会が公表する、令和4年10月末時点での税理士登録者数は80,441名。平成2年の57,073名と比較しても1.4倍増えています。

また、有効求人倍率については、厚生労働省「職業情報提供サイト」の調べによると、令和3年時点の、税理士業界の全国平均有効求人倍率は2.07倍。比較的就職活動がしやすい業界です。



税理士事務所の転職事情

税理士受験者数の5年分のデータ



今年(2023年)の試験から受験資格の緩和されました。その影響もあり、受験者数は昨年のから4,040人増の32,893人となっています。合格率も21.7%に上昇し合格者数は7,125人とと昨年の合格者数を超えました。

出典「MS-Japan調べ」

<https://www.jmsc.co.jp/knowhow/topics/12082.html>

未経験から税理士事務所に転職するためのポイント



「将来を担う人材が欲しい」

未経験者を積極的に
受け入れる事務所もある

① 未経験者を受け入れている事務所を探す

実際のところ、未経験者を受け入れるかどうかは、所長税理士や代表税理士の方針にもよります。中には「即戦力が欲しい」という理由で、基本的に未経験者を採用しない事務所もあるでしょう。

その一方で、「将来を担う人材が欲しい」という理由から未経験者でも積極的に受け入れる事務所もあります。

もし未経験から税理士事務所に転職したいのであれば、まずは「未経験者可」と明示している求人を徹底的に探しましょう。「1社だけ応募して内定が出る」という可能性は低いので、複数の求人を探して積極的に応募するといいです。

未経験から税理士事務所に転職するためのポイント



よく見かける条件

- 日商簿記検定2級以上
- 税理士会計科目合格者
- 要普通運転免許

②「簿記2級」などの条件を満たせるよう勉強する

未経験者が税理士事務所への転職を考える場合、簿記2級の資格を有していることが望ましいです。

私たちは税理士事務所から、求める人材の条件をよく伺います。未経験者である場合、特に簿記2級の資格を持っていることが望ましいという意見が多くあります。

したがって、もし簿記2級の資格がない方が税理士事務所への就職を希望する場合は、まず簿記2級の取得をお勧めします。そうすることで、事務所への就職が比較的容易になると考えられます。

求人の見分け方

【選んではいけない求人】

① 未経験者に対する教育制度がない

所長1人もしくは数名のスタッフで運営している税理士事務所は珍しくありません。このような小規模な事務所では、タイムカードすらないほど労務管理の整備が遅れていることが往々にしてあります。そのため長時間労働になりやすく、税理士試験の学習時間を十分に確保できない可能性が高いでしょう。

未経験者に対する教育制度がない事務所では、入社後に期待と現実のギャップに直面し、結果的に退職に至るケースが多いため、事前に確認することが必要です。



求人の見分け方

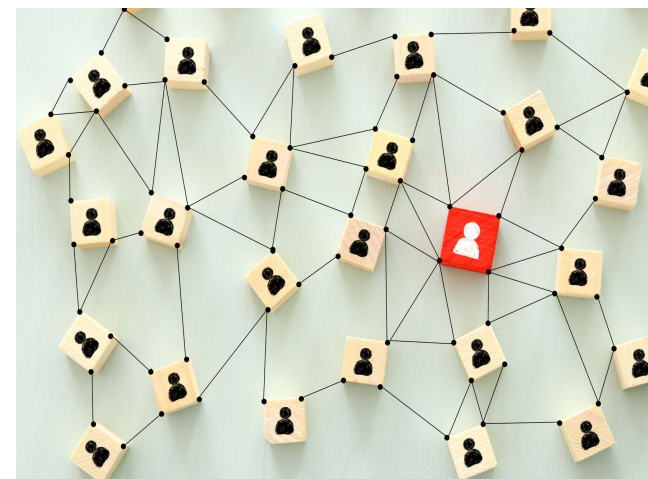
【選んではいけない求人】

② 頻繁に求人を出している

頻繁に求人を出している事務所には主に2つのタイプがあります。一つは、常に成長を目指しているため通年で採用を行っているというポジティブなケースです。

もう一つは補充採用を行っているケースで、これは特に未経験者が注意すべきです。このタイプの事務所は、過酷な労働環境になる可能性が高いためです。

3年前と現在の従業員数の変動を確認して、従業員数が大きく変わっていない場合は、未経験者にとっては避けた方が無難でしょう。



求人の見分け方

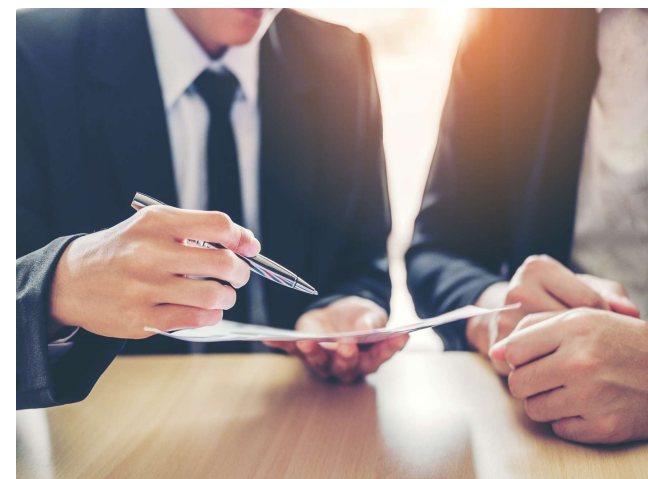
【おすすめの求人】

①OJT制度が整備されている

OJT制度とは、先輩税理士と一緒に業務を行いながら、必要な知識・スキルを身に付けていくことです。

未経験からチャレンジする場合、簿記や税務の知識はあっても、実務でそれをどう活かせば良いかわからない場合がよくあります。

OJT制度の整った環境で丁寧に教えてもらいながら業務の流れを身に付けていくほうが、スムーズに成長することができます。



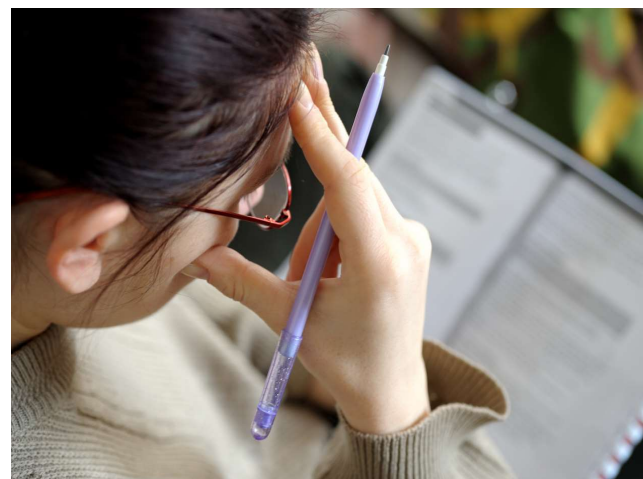
求人の見分け方

【おすすめの求人】

②税理士試験受験に対するサポート体制が整っている

たとえば、専門学校の授業がある日は定時で上がらせてもらったり、毎年7月後半は試験休暇が取れたりすれば、勉強と仕事の両立もしやすくなります。理解のある税理士事務所に所属すると、試験の合格率もアップします。

また、現在受験生として働いている従業員がいるかどうかを確認することもポイントです。事務所が資格取得を目指す未経験者に対してどの程度の支援を行っているかが明確になります。



書類選考を通過するためには



【前職・学生時代】

- ・ チームで取り組んだ経験は？
- ・ チームワークを意識した行動は？

① チームワークの重要性を強調する

税理士事務所では多くの案件を同時に処理する必要があり、チームワークが非常に重要です。

チームワークの重要性を履歴書に強調するためには、過去の職歴や学生時代の経験を具体的なエピソードとして記述することが有効です。

例えば、以前の職場でチームプロジェクトを成功に導いた経験や、学生時代に参加したクラブやグループ活動での貢献を詳細に説明します。重要なのは、自分がどのようにしてチーム内で協力し、どのような役割を果たしたかを明確にしましょう。

書類選考を通過するためには



【短期間の転職】

その理由を明確かつ
正当に説明する

②過去の転職回数に注意する

転職回数が多い場合、継続性が欠けていると捉えられがちです。特に税理士事務所では、未経験者が一人前として活躍するためには通常2年程度の時間が必要です。そのため、頻繁な転職履歴は採用過程で不利に働く可能性があります。

履歴書を作成する際には、短期間での転職があった場合、その理由を明確かつ正当に説明することが重要です。

また、一つの職場で長く働いた経験があれば、その期間中に学んだスキルや経験、成し遂げた成果を強調することで、継続性と成長の意欲をアピールできます。

書類選考を通過するためには



【履歴書の作成】

- 誤字や脱字のチェック
- 写真はスーツで撮影

③履歴書の正確さを保つ

履歴書の作成においては、正確さが非常に重要です。必ず誤字や脱字がないことを確認し、整理された形式で履歴書を提出しましょう。

もし手書きが苦手な場合には、Wordなどを活用して履歴書を作成しても問題ありません。

履歴書に添付する写真は、あなたの第一印象を形作る重要な要素です。スーツを着用し、写真スタジオで撮影された写真を選ぶことが望ましいです。こうした写真は、あなたが真剣に職務に取り組む意欲があることを示し、税理士事務所に対して良い印象を与えます。

書類選考を通過するためには



【未経験者】

仕事に取り組む上での
素直さ・前向きな姿勢が重要

④PRポイントを注意する

履歴書のPRポイントとして、未経験者は特に素直さや前向きな姿勢をアピールすることが重要です。自分が新しい知識やスキルを積極的に学び取り、指導やフィードバックを受け入れる能力を持っていることを示すことが大切です。

例えば、以前の職場や日常生活で新しい技術や方法を学び、それを実践に活かした経験をPRしましょう。

また、チームや上司からの指導をどのように受け入れ、それに基づいて成長したかの具体的なエピソードを記載することも効果的です。

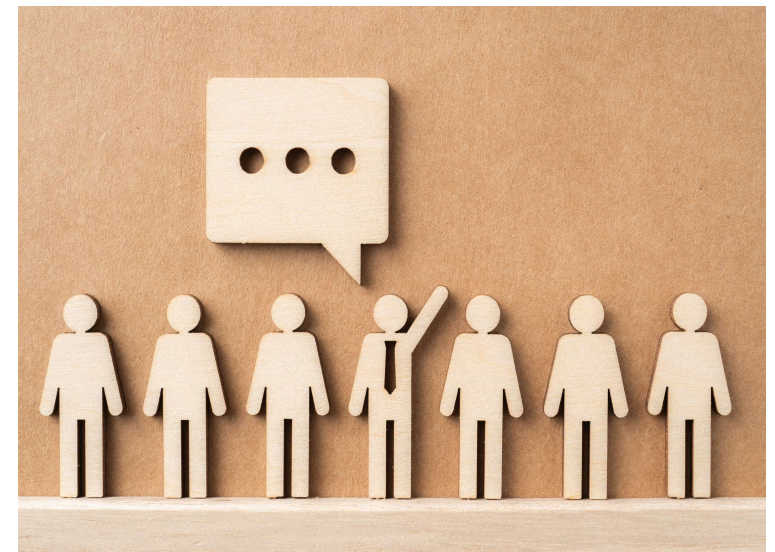
面接を通過するためには

①人の話を聞き、的確な受け答えができるか

面接は一對一の人間関係が重要となる場面であり、特に税理士事務所においてはコミュニケーション能力が重視されます。経験がない場合でも、面接官はあなたがどのように対応し、的確な回答ができるかを見ています。

また、あなたが顧客と会った際にどのように対応するか、顧客に好印象を与えられるかも評価のポイントです。税理士事務所では、顧客との信頼関係構築が重要であり、毎月の打ち合わせなどで顧客と頻繁に接することがあります。そのため、面接時には好印象を与える態度が求められます。

。



面接を通過するためには

②教育できる人材か（素直さ・前向きさがあるか）

未経験者は、新しい知識や技能を学び、指導を受け入れる能力が重視されます。面接官は、あなたがどの程度素直で前向きな姿勢を持ち、成長しようとする意欲があるかを評価します。

これには、過去の経験や学習に対するアプローチ、課題に対する対応方法などを通じて、自己成長への取り組みをアピールしましょう。面接でのポジティブな態度と、新しい状況や課題への柔軟な対応能力は、あなたが教育可能であり、職場で価値ある貢献を行える人材であることを示します。



まとめ

税理士業界は特殊であり、一般企業から転職した場合には戸惑うことも多いです。そのため、最初の事務所選びは非常に重要で、複数の事務所を検討しながら、自分に合った職場を見つけることが大切です。

先にお伝えしたポイントを押さえた事務所を選ぶことで、転職でのミスを防ぎ、あなたのキャリアの成功に繋がります。



ミツカルにできること



「未経験から税理士事務所に転職したい」
「未経験でも安心して働ける職場を選びたい」

もし、あなたが本資料をお読みいただきそう感じられたなら・・・
あなたが未経験から「税理士のキャリア」をスタートできる
最適な職場をミツカルをご紹介します！

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」

ミツカルで最適な職場を見つけて働き方と人生に選択肢を増やしませんか？



ワークライフ
バランスの取れた
生活がしたい方



今よりも
年収を上げたい方



もっとスキルを
高めてキャリア
アップしたい方

経験豊富なキャリアアドバイザーが、あなたの転職を親身にサポートします。



代表 城之内 楊

これまで、3,000以上の税理士事務所のコンサルティングや士業向けのセミナーに複数登壇。さらにはスタートアップから上場企業まで外部顧問や役員としても活躍する。退職後、税理士業界を活性化するために、税理士事務所の採用支援サービスを展開する株式会社ミツカルを創業。年間2,400名以上の税理士事務所の求職者をサポート。

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



ミツカルが選ばれる5つの理由

1

マッチ率の高い事務所から
オファーが届く

2

厳しい審査を通過した
事務所のみが登録

3

業界最大手
地域最大手・特化型事務所
100社以上が登録

4

好条件求人が豊富で
選択肢も幅広い

5

今の職場にバレずに
転職活動ができる

税理士法人専門の転職プラットフォーム「ミツカル」



ご登録後すぐにあなたにマッチした求人をお届けします

税理士法人専門の転職プラットフォーム
「ミツカル」のご登録はこちらから

＼登録は簡単30秒／



ここをクリック

OR



QRコードからもアクセスできます

ミツカルを利用した実際の転職者の声

個人事務所から特化型事務所へ転職



転職期間

1ヵ月

業界経験

5年

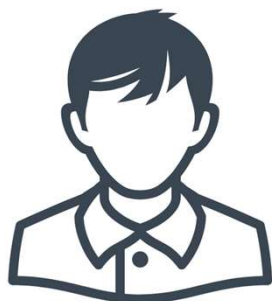
現在の収入

650万円

個人事務所で巡回担当として働いていましたが、訪問先の社長は零細や小規模ばかりでした。年収を上げるためには担当件数や規模感を増やす他なく、資料を期限通りに送ってすらこない企業を相手にしても将来性は無いなと感じていました。資産税にもともと興味がありチャレンジをしたいと思っていたのでミツカルに条件登録。都内の相続特化事務所からまさかのオファーがありました。担当した報酬に対してのインセンティブもよく転職してよかったと感じております。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

5大都市から地元の大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

13年

現在の収入

700万円

大阪の中堅事務所でマネージャーとして働いていましたが、両親と子供の事を考え、地元に戻りました。正直年収は下がってますが、地方の生活水準では充分です。休日は家族で一緒に出かけて両親も孫に逢える頻度が増えて喜んでました、今の事務所は地方でも有名な事務所で地域で有名な企業も担当をさせていただいております。ミツカルは登録してすぐにオファーがあったので、登録期間が短くて担当の方もびっくりしてましたが、良いサービスだとは思います。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2ヵ月

業界経験

9年

現在の収入

800万円

転職を決意したのは、将来のキャリアパスと待遇の不一致が理由でした。10年後の幹部ポストを見据えていましたが、幹部の待遇や内情を知るにつれ、責任は増える一方で給与がそれに見合っていないと感じたんです。そんな中、ミツカルさんと出会いました。最初に担当者とお話した時に、とても親切に話をしてくれて、その時点で今回の転職がうまくいくイメージを持つことができました！ミツカルのサービスは、これから転職を考える人にとって非常に価値のあるものだと思います。

ミツカルを利用した実際の転職者の声

地方事務所から大手事務所へ転職



転職期間

2カ月

業界経験

9年

現在の収入

780万円

今回ミツカルさんを利用して転職活動を行いました。カジュアル面談でお話した約8割の企業が私のイメージに合っていました。さらに、カジュアル面談は「うちの事務所に来てほしい」という前提のもと話が進むことが多く、通常の面接とは大きな違いを感じました。一時は進路に迷うこともありましたが、ミツカルのチームが他の企業を紹介してくれたので、私は常にポジティブな姿勢を維持することができました。最終的には、地方の中堅事務所から大手規模の事務所に転職し、新たなキャリアの道を歩み始めています。